

ホソエカエデ	<i>Acer capillipes</i> Maxim.	絶滅危惧Ⅱ類
		カエデ科
選定理由	生育地が限定されているうえ、個体数が少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	葉形はウリハダカエデに似るが、裏面脈上と脈腋は無毛で、脈腋に水かき状の薄膜があることで異なる。葉の質は薄く柔らかい。葉柄、稀に裏面の主脈は赤みを帯びる。雌雄異株。下垂する総状花序に淡緑白色の花を20-15個つける。	
生態的特徴	冷温帯のやや湿り気が多い斜面や、沢沿いに生育する。花期は5-6月。	
分布状況	日本固有で、関東と中部地方の南部、紀伊半島、四国に分布する。岐阜県では美濃地方の東部に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項	Ogata (1965)は美濃地方の南西部にもあるとしているが、今回の調査では確認されていない。	
参考文献		

文責: 高橋弘